

輸送動向について(7月分)

平成18年8月

1. 輸送概況

今月は中旬から下旬にかけて、本州付近に停滞し、活動が活発化した梅雨前線の影響で、山陰、北陸、庄内、九州地方及び長野県にかけて、記録的な豪雨による輸送障害が発生し、高速貨393本、専貨82本が運休した。特に、13日に羽越線小岩川駅～あつみ温泉駅間で土砂流入災害が発生し、同区間が不通となったため、迂回列車の運転をはじめとして、トラックによる代行輸送等を実施し、輸送力の確保に最大限努めたが、一部の貨物に大きな影響を残した。(8月9日運転再開)

荷動きについては、輸送障害の影響を受けた他、全国的な天候不順もあり、一般的に低調に推移し、輸送量全体では前年比99.7%となった。

コンテナ貨物では、たばこ及びビールが減送となった食料工業品の他、化学薬品などが前年を下回ったものの、政府米の出荷が好調であった農産品の他、自動車部品、エコ関連物資、紙パルプ等などが前年を上回り、コンテナ全体では前年比102.4%となった。

車扱貨物では、石灰石及び化学工業品などが前年を上回ったものの、石油及びセメントなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比95.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,853	1,809	102.4%	7,445	7,243	102.8%
車 扱	1,016	1,068	95.1%	4,079	4,297	94.9%
計	2,869	2,877	99.7%	11,524	11,540	99.9%

3. 品目別輸送実績表

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	96	80	16	120.0%
	生野菜青果物	35	36	-1	97.2%
	化学工業品	187	181	6	103.3%
	化学薬品	140	146	-6	95.9%
	食料工業品	294	299	-5	98.3%
	紙パルプ等	311	293	18	106.1%
	他工業品	135	132	3	102.3%
	積合せ貨物等	194	196	-2	99.0%
	自動車部品	57	51	6	111.8%
	エコ関連物資	37	33	4	112.1%
	その他	367	363	4	101.1%
	コンテナ計	1,853	1,809	44	102.4%
車 扱	石 油	619	628	-9	98.5%
	セメント	75	118	-43	63.4%
	石灰石	68	58	10	116.0%
	車 両	114	115	-1	98.8%
	紙・パルプ	26	42	-16	60.9%
	化学工業品	51	48	3	106.3%
	その他	64	58	6	109.7%
車扱計	1,016	1,068	-52	95.1%	
合 計	2,869	2,877	-8	99.7%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)